みんなで語ろう！入間の未来
杉島市長のタウンミーティング

本日の流れ

第一部（19時～）

1 自治会長あいさつ
2 会のルール説明
3 市長から「市の現状とビジョン」
4 市民と市長との直接対話

第二部（19時40分～）

1 市長から「地域のトピックス」
2 参加者同士の意見交換
3 市民と市長との直接対話

市長からのお話

SDGs未来都市 入間市
Well-being City いるま
～健康と幸せを実感できる未来共創都市～

DX Acceleration Local Lab
いるまDX推進ラボ

脱炭素重点対策実施地域
埼玉県入間市

入間市の現状とビジョン

入間市長　杉島　理一郎

本日の内容

１．入間市の現状認識と課題

２．課題解決策と３年半の歩み

３．令和６年度の取組と予算

	日本国	埼玉県	入間市
人口	1.23億人	733万人	14.4万人
予算	114.3兆円	2.2兆円	512億円
ランキング	12位/196ヶ国	5位/47都道府県	13位/63市町村

市税	216億円
個人市民税	86億円
固定資産税	93億円
法人市民税	10億円
たばこ税	9億円

179億円

市税収入の推移

億円
%
市税
歳入総額
市税収入の割合
800
700
600
500
400
300
200
100
70.0
65.0
60.0
55.0
50.0
45.0
40.0
35.0
30.0
25.0
56.0
55.0
55.7
51.1
58.7
59.8
63.1
63.4
55.6
53.5
54.3
52.7
52.0
53.9
50.7
51.0
35.2
40.3
44.2
370
370
349
389
349
352
354
356
393
396
392
398
405
394
406
400
408
420
422
605
517
487
207
204
194
199
205
210
224
226
218
212
213
210
211
212
211
212
212
213
215
213
209
215
H13
H14
H15
H16
H17
H18
H19
H20
H21
H22
H23
H24
H25
H26
H27
H28
H29
H30
R1
R2
R3
R4
年度

入間市の人口推計

（出典）「入間市人口ビジョン」（平成 27（2015）年度策定）をもとに作成

入間市の人口推移（3区分）

年少人口

数は

1／2

構成比は

1／3

年月日	人口	年少人口（0～14歳）				生産年齢人口（15～64歳）				老年人口（65歳以上）			
		総数	男	女	構成比（%）	総数	男	女	構成比（%）	総数	男	女	構成比（%）
S54.1.1	96,919	28,163	14,507	13,656	29.06%	64,092	32,540	31,552	66.13%	4,664	1,971	2,693	4.81%
S56.1.1	104,307	29,587	15,209	14,378	28.37%	69,433	34,978	34,455	66.57%	5,287	2,248	3,039	5.07%
S57.1.1	106,558	30,240	15,520	14,720	28.38%	70,785	35,457	35,328	66.43%	5,533	2,329	3,204	5.19%
S58.1.1	109,582	30,300	15,589	14,711	27.65%	73,401	36,807	36,594	66.98%	5,881	2,474	3,407	5.37%
S59.1.1	112,120	30,284	15,519	14,765	27.01%	75,632	37,915	37,717	67.46%	6,204	2,596	3,608	5.53%
S60.1.1	115,506	30,292	15,513	14,779	26.23%	78,669	39,476	39,193	68.11%	6,545	2,744	3,801	5.67%
S61.1.1	118,828	30,124	15,409	14,715	25.35%	81,738	41,068	40,670	68.79%	6,966	2,907	4,059	5.86%
S62.1.1	122,409	29,921	15,342	14,579	24.44%	85,047	42,815	42,232	69.48%	7,441	3,096	4,345	6.08%
S63.1.1	128,162	30,133	15,452	14,681	23.51%	90,041	45,366	44,675	70.26%	7,988	3,309	4,679	6.23%
S64.1.1	132,907	29,958	15,410	14,548	22.54%	94,364	47,654	46,710	71.00%	8,585	3,519	5,066	6.46%
H2.1.1	135,635	29,263	14,989	14,274	21.57%	97,220	49,208	48,012	71.68%	9,152	3,787	5,365	6.75%
H3.1.1	137,980	28,493	14,574	13,919	20.65%	99,787	50,492	49,295	72.32%	9,700	4,040	5,660	7.03%
H4.1.1	139,800	27,825	14,247	13,578	19.90%	101,645	51,493	50,152	72.71%	10,330	4,358	5,972	7.39%
H22.1.1	150,914	20,495	10,461	10,034	13.58%	101,014	51,311	49,703	66.93%	29,405	13,472	15,933	19.48%
H23.1.1	151,004	20,282	10,337	9,945	13.43%	100,471	51,046	49,425	66.54%	30,251	13,858	16,393	20.03%
H24.1.1	150,651	19,923	10,173	9,750	13.22%	99,458	50,524	48,934	66.02%	31,270	14,362	16,908	20.76%
H24.1.1	150,367	19,551	9,995	9,556	13.00%	97,574	49,607	47,967	64.89%	33,242	15,257	17,985	22.11%
H26.1.1	150,216	19,295	9,919	9,376	12.84%	95,812	48,760	47,052	63.78%	35,109	16,113	18,996	23.37%
H27.1.1	149,952	19,016	9,805	9,211	12.68%	93,990	47,849	46,141	62.68%	36,946	16,977	19,969	24.64%
H28.1.1	149,593	18,711	9,675	9,036	12.51%	92,471	47,100	45,371	61.82%	38,411	17,616	20,795	25.68%
H29.1.1	149,124	18,340	9,499	8,841	12.30%	91,086	46,403	44,683	61.08%	39,698	18,189	21,509	26.62%
H30.1.1	148,723	17,906	9,246	8,660	12.04%	89,952	45,946	44,006	60.48%	40,865	18,707	22,158	27.48%
H31.1.1	148,442	17,522	9,014	8,508	11.80%	89,044	45,534	43,510	59.99%	41,876	19,161	22,715	28.21%
R2.1.1	147,731	17,163	8,816	8,347	11.62%	87,901	45,004	42,897	59.50%	42,667	19,459	23,208	28.88%
R3.1.1	147,166	16,671	8,534	8,137	11.33%	87,129	44,605	42,524	59.20%	43,366	19,780	23,586	29.47%
R4.1.1	146,311	16,183	8,284	7,899	11.06%	86,297	44,118	42,179	58.98%	43,831	19,919	23,912	29.96%
R5.1.1	145,721	15,716	8,080	7,636	10.78%	85,887	43,976	41,911	58.94%	44,118	19,966	24,152	30.28%
R5.3.1	145,530	15,619	8,014	7,605	10.73%	85,762	43,946	41,816	58.93%	44,149	19,964	24,185	30.34%

老年人口

数は

8倍

構成比は

6倍

過去１５年間の歳出の比較

公共施設（ハコモノ）

32万㎡

東京ドーム 7個分

公共施設（ハコモノ）建設年度別整備状況

公共施設（ハコモノ）維持管理コスト

40年で
544億円

既存の
公共施設等にかかる投資的経費
（平成 29 年度～令和元年度）
平均　13.6 億円／年

建替え・大規模改修にかかるコスト
平均　47.0 億円／年

今後 40 年間の
建替え・大規模改修
費用総額
1,882 億円

建替え（平成 26 年～令和 35 年度）
維持補修費（平成 26 年～令和 35 年度）
大規模改修（平成 26 年～令和 35 年度）
大規模改修（築 31 年以上 50 年未満）（平成 26 年～令和 5 年度）

令和6年度児童・生徒数・学級数一覧表 （4月1日現在）

（ ）は特別支援で内数

	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			第5学年			第6学年			合　計		
	学級数	児童・生徒数		学級数	児童・生徒数		学級数	児童・生徒数		学級数	児童・生徒数		学級数	児童・生徒数		学級数	児童・生徒数		学級数	特支学級数	児童・生徒数
豊岡小	2	54	(2)	2	45	(0)	2	54	(0)	2	61	(3)	2	64	(1)	2	75	(1)	12	2	353 (7)
東金子小	2	50	(3)	2	39	(2)	2	54	(3)	2	43	(2)	2	46	(0)	2	47	(1)	12	2	279 (11)
金子小	2	51	(3)	2	40	(4)	2	68	(1)	2	53	(3)	2	69	(2)	2	52	(1)	12	3	333 (14)
宮寺小	1	34	(0)	1	33	(1)	2	42	(1)	1	36	(4)	2	47	(5)	1	31	(0)	8	3	223 (11)
藤沢小	2	58	(0)	2	59	(1)	2	62	(0)	2	49	(0)	3	79	(2)	2	69	(1)	13	1	376 (4)
狭山小	2	45	(2)	2	59	(2)	2	58	(3)	2	71	(1)	2	55	(2)	2	67	(3)	12	2	355 (13)
西武小	3	79	(1)	3	106	(2)	4	112	(5)	3	98	(2)	3	89	(0)	4	126	(4)	20	2	610 (14)
藤沢南小	2	48	(0)	2	52	(1)	2	59	(6)	3	73	(2)	2	54	(1)	2	56	(2)	13	2	342 (12)
黒須小	3	76	(3)	2	65	(3)	3	84	(3)	3	85	(3)	2	67	(0)	2	65	(1)	15	2	442 (13)
扇小	4	115	(2)	3	114	(9)	4	111	(3)	4	142	(4)	4	138	(3)	4	138	(5)	23	4	758 (26)
藤沢東小	3	86	(4)	2	65	(2)	3	78	(2)	3	93	(0)	3	85	(2)	3	94	(4)	17	2	501 (14)
藤沢北小	4	131	(1)	4	113	(1)	3	98	(3)	3	105	(4)	3	103	(1)	4	132	(0)	21	3	682 (10)
仏子小	2	44	(2)	1	27	(1)	2	48	(2)	2	50	(3)	2	42	(1)	1	36	(1)	10	2	247 (10)
新久小	2	44	(1)	2	45	(2)	2	54	(4)	1	35	(2)	1	33	(2)	2	50	(3)	10	3	261 (14)
東町小	3	73	(1)	2	69	(3)	3	94	(2)	2	62	(2)	3	82	(1)	2	79	(2)	15	2	459 (11)
高倉小	1	33	(0)	2	46	(2)	2	39	(1)	1	36	(3)	2	45	(1)	1	38	(2)	9	2	237 (9)
合　計	38	1,021	(25)	34	977	(36)	40	1,115	(39)	36	1,092	(38)	38	1,098	(24)	36	1,155	(31)	222	37	6,458 (193)
豊岡中	3	92	(3)	3	97	(6)	2	84	(5)										8	3	273 (14)
金子中	2	52	(2)	2	60	(4)	2	59	(3)										6	2	171 (9)
武蔵中	3	98	(4)	3	99	(0)	3	98	(1)										9	2	295 (5)
藤沢中	5	173	(3)	5	201	(7)	5	184	(6)										15	3	558 (16)
西武中	2	49	(6)	1	39	(3)	1	41	(3)										4	2	129 (12)
向原中	4	151	(3)	4	160	(6)	4	142	(1)										12	2	453 (10)
黒須中	3	84	(2)	3	85	(3)	2	78	(3)										8	2	247 (8)
東金子中	2	70	(2)	3	95	(3)	3	90	(2)										8	2	255 (7)
上藤沢中	4	120	(0)	4	132	(0)	4	140	(0)										12	0	392 (0)
東町中	2	62	(0)	2	75	(0)	2	62	(0)										6	0	199 (0)
野田中	3	109	(0)	3	112	(0)	3	120	(0)										9	0	341 (0)
合　計	33	1,060	(25)	33	1,155	(32)	31	1,098	(24)										97	18	3,313 (81)

自治会員の減少

８１％
自治会加入世帯最多
H24年　43,540世帯
５９％
H10年 人口146,266人
49,806世帯
40,347世帯
80,000
70,000
60,000
50,000
40,000
30,000
20,000
10,000
0
90.0%
80.0%
70.0%
60.0%
50.0%
40.0%
30.0%
20.0%
10.0%
0.0%
平成10年
平成11年
平成12年
平成13年
平成14年
平成15年
平成16年
平成17年
平成18年
平成19年
平成20年
平成21年
平成22年
平成23年
平成24年
平成25年
平成26年
平成27年
平成28年
平成29年
平成30年
令和元年
令和２年
令和3年
令和4年
世帯数
加入世帯数
加入率

サークル団体の減少

1,100
1,050
1,000
950
900
850
800
1,036
1,001
963
934
880
821
平成29年度
平成30年度
令和元年度
令和2年度
令和3年度
令和4年度
公民館サークル数

地区センター別自治会加入率及びサークル登録数一覧

地区センター名	人口 (R6.4.1)	世帯数 (R6.4.1)	加入世帯数 (R5.10.1)	加入率	サークル登録数
扇町屋地区センター	25,726	12,341	7,015	56.8%	66団体
扇町屋地区センター久保稲荷分館					58団体
東町地区センター	10,611	4,783	2,228	46.6%	62団体
黒須地区センター	16,655	8,450	4,946	58.5%	53団体
黒須地区センター高倉分館					36団体
東金子地区センター	15,855	7,472	4,291	57.4%	57団体
金子地区センター	9,114	4,125	2,298	55.7%	56団体
宮寺・二本木地区センター	11,219	4,984	3,103	62.3%	44団体
宮寺・二本木地区センター二本木分館					83団体
藤沢地区センター	23,695	10,695	6,791	63.5%	121団体
藤沢地区センター藤の台分館					40団体
東藤沢地区センター	10,293	5,143	2,289	44.5%	66団体
西武地区センター	21,094	10,182	6,141	60.3%	53団体
合計	144,262	68,175	39,102	57.4%	795団体

自治会加入率

57.4 % ↘

サークル数

795 団体 ↘

旧公民館 稼働率の問題

全公民館の平均稼働率

29.5%

最高稼働率

39.4%（R.1年 藤沢）

最低稼働率

21.7%（R.1年 宮寺）

		H29	H30	R1	R2	R3
	公民館名	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
1	中央	34.19%	34.09%	29.94%	22.57%	
2	扇町屋	29.09%	29.60%	30.30%	13.86%	18.14%
3	黒須	26.83%	26.57%	30.44%	12.67%	16.87%
4	高倉	22.80%	25.95%	26.55%	12.68%	16.39%
5	東町	33.83%	34.69%	36.03%	17.89%	24.77%
6	久保稲荷	21.86%	23.64%	25.48%	15.15%	13.54%
7	東金子	27.26%	28.80%	27.46%	15.39%	17.80%
8	金子	24.21%	24.19%	24.03%	14.05%	17.43%
9	宮寺	22.10%	21.93%	21.73%	17.38%	17.11%
10	二本木	24.98%	24.03%	22.95%	12.47%	13.76%
11	藤沢	35.69%	36.23%	39.41%	18.60%	25.80%
12	東藤沢	34.29%	34.12%	34.79%	13.61%	25.45%
13	藤の台	31.59%	30.67%	30.18%	17.36%	21.10%
14	西武	26.46%	25.05%	30.94%	21.08%	21.98%
	合計	28.13%	28.44%	29.52%	16.06%	19.49%

「公共施設マネジメント」はＨ２６年～スタート

ハコモノにかかる費用を“６割”減らすために定めた方針

施設面積を３割減らし、残りの３割は次のページのようにして事業費を減らしていきます。

事業費を３割減らす

①施設が減ることで人件費、光熱水費を減らす

②機器を高効率または高性能の優れた省エネのものにする

③余剰となった施設や土地を貸したり売ったりする

④広域連携などで維持管理費及び建設費を減らす

⑤官民連携による効率化

入間市の財政推計

入間市中期財政計画（令和４年度～令和８年度）

(3) 歳入・歳出乖離額

（単位：百万円）

	令和２年度（当初予算）	令和３年度（当初予算）	令和４年度（当初予算）	令和５年度（推計）	令和６年度（推計）	令和７年度（推計）	令和８年度（推計）
歳 入 合 計	43,951	44,165	45,010	44,620	44,524	46,688	46,301
歳 出 合 計	43,951	44,165	45,010	45,783	46,256	48,749	48,665
歳入・歳出乖離額	0	0	0	△1,164	△1,732	△2,061	△2,363
					△2,896	△4,957	△7,320
				（累積赤字）	（▲11億）	（▲28億）	（▲49億）	（▲73億）

財政調整基金の推移

H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
925	1,848	2,161	3,317	3,035	2,507	2,257	2,040	2,191	3,026
									（30億）

「入間市」の現状認識

▼人口急減＋税収激減 ↘
▼高齢者の福祉費増大 ↗
▼公共施設の負担増大 ↗

数年後に財政破綻の危機

ゆでガエル理論

カエルを熱湯の中に入れると驚いて飛び出すが、常温の水に入れて徐々に熱すると、カエルはその温度変化に慣れていき、気づかないうちにゆであがって死んでしまう。

『入間市RISE UP宣言』

将来ビジョン

「来てよし、住んでよし、働いてよしのまち・入間」

基本理念

①チャレンジ ②誰一人取り残さない ③筋肉質な行政

政策宣言（６分野３０本）

①ＤＸ ~version UP~　②守る ~follow UP~　③改める ~value UP~
④稼ぐ ~power UP~　⑤支える ~value UP~　⑥育てる ~bring UP~

自治体経営で入間市を守る！！

①　“削ぐ！”　～行政改革～

②　“稼ぐ！”　～歳入確保～

③　“蒔く！”　～未来投資～

プラス１

◎　“働く！”　～人財育成～

①削ぐ！　～行政改革～

- 「いるまドック」による事業のゼロベース見直し
- 「民営化」等による外郭団体の整理
- 「ＤＸ」の推進による“３レス”と合理化
- 「長期化事業」の進捗
- 「公共施設マネジメント」の推進

②稼ぐ！　～歳入確保～

- 「新産業団地」と「駅前留保地」の開発
- 「採択補助金」の獲得

  （防衛省、環境省、経産省、国交省、埼玉県、toto）
- 「ふるさと納税（寄付金）」の推進
- 「官民連携（企業の社会貢献）」の推進

③蒔く！　～未来投資～

- 「ＤＸ」の推進
- 「ＳＤＧｓ」の推進
- 「ＧＸ（ゼロカーボン）」の推進
- 「ＰＲ・プロモーション」の推進
- 「パーパス」の策定とアクションの推進

＋１　働く！　～人財育成～

- 「政策参与」「アドバイザー」制度の導入

（ＤＸ、ふるさと応援、自治会支援、防災、気象、危機管理、ＰＲ）

- 「人事交流」の積極的活用

受入（副市長、企画部・環境経済部・都市整備部参事）

派遣（総務省、経産省関東経産局、デジタル庁、県庁、県土事務所）

- 「経験者採用」の導入と「若手」の登用
- 「働き方改革」の推進

この３年半の歩み

COVID-19

第３波

ワクチン

第５波

第６波

第７波

５類移行

R2.11月　市長就任

R3. 6月　地域新MaaS創出推進事業（経産省）

R4. 1月　埼玉版スーパーシティ（埼玉県）

R4. 5月　ＳＤＧｓ未来都市（内閣府）

R5. 1月　ふるさと納税１億円達成！

R5 3月　ＧＸオープンイノベーション賞（東工大）

R5. 4月　地域ＤＸ推進ラボ（経産省）

R5. 5月　脱炭素重点対策実施地域（環境省）

新たな政策条例の制定

R3．4月　手話言語条例

R4．4月　空家等の適正管理に関する条例

R4．7月　ヤングケアラー支援条例

R4.10月　おいしい狭山茶大好き条例

R4.10月　犯罪被害者支援条例

R5．4月　太陽光発電設備の適正な設置等に関する条例

R5.10月　自転車活用まちづくり条例

R5.10月　スポーツ振興まちづくり条例

新たな制度の導入

R3. 3月　様式等における押印の特例に関する要綱

R3. 4月　園芸生産力強化支援事業補助金交付要綱

R3. 9月　パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度要綱

R4. 4月　ブロック塀等撤去工事補助金交付要綱

R4. 4月　幼児の多様な集団活動事業の給付金支給要綱

R4. 4月　ゼロカーボンシティ推進設備設置費補助金交付要綱

R4. 9月　国保高額療養費支給申請手続の簡素化に係る要綱

R5. 1月　出産・子育て応援給付金要綱

新たな制度の導入

R5. 4月　新規就農者育成総合対策実施要綱

R5. 4月　成年後見センター事業実施要綱

R5. 4月　帯状疱疹予防接種費用助成金交付要綱

R5. 9月　自転車用ヘルメット購入費補助金交付要綱

R5. 4月　職員一級建築士資格取得助成金交付要綱

R5. 4月　職員の配偶者同行休業に関する条例

R5. 9月　職員の自己啓発等休業に関する条例

R5. 9月　一般職の任期付職員の採用等に関する条例

入間市のパーパス

心豊かでいられる、「未来の原風景」を創造し伝承する

令和６年度の挑戦

①人への投資

②子どもへの投資

③公共施設マネジメントの推進

歳入 市に入ってくるお金 512億3,500万円

歳出 市から出ていくお金 512億3,500万円

市民1人あたりに使われるお金
35万4千円

歳出総額512億3,500万円を
人口144,732人(令和6年1月1日現在)で
割ったものです。

市民１人あたりが収めている市税
１４万９千円

市民１人あたりが収めている国税等
９万８千円

市民１人あたりの市の借入額
３万５千円

民生費
14万7千円

児童、障害者、高齢者などの福祉全般に使うお金

教育費
5万3千円

学校運営の費用など教育全般の事務、業務に使うお金

総務費
4万9千円

市の総括的な管理事務などに使うお金

土木費
3万3千円

道路や公園整備などに使うお金

衛生費
2万8千円

環境保護、保健衛生、ごみ処理などに使うお金

公債費
2万5千円

借り入れたお金の返済金

消防費
1万4千円

消防、救急全般に使うお金

その他の支出
5千円

議会運営、農林水産業、労働、商工業などに使うお金

6つの施策の大綱と主な事業

第6次総合計画に掲げる施策の大綱ごとに主な事業を掲載します。

1 つながりを大切にしたまちづくり

誰もがまちづくりに参加できる環境を整え、市民活動の充実を図ることで、市民同士や団体、各地域のつながりを大切にしたまちをつくります。

施設改修事業（地区センター費）

1,758万円

西武地区センターが地域の拠点として長く利用されるよう、屋上防水等の改修工事の実施設計を行います。また、黒須地区センターの建替工事の実施に向けて基本計画等を策定します。

男女共同参画推進事業

310万円

第5次いるま男女共同参画プランに基づき、男女共同参画や性的マイノリティの理解促進に関する講座の開催、情報発信による普及啓発および女性のための相談事業を実施します。

地区センター費総額では
6.2億円

ちなみに市民/文化活動費
5.6億円

ちなみに図書館/博物館費
6.5億円

ちなみに児童館/健福C費等
7.5億円

2 学びあいのまちづくり

市民が生涯にわたって学びを続けることができ、学びの場としての学校教育や社会教育を充実させ、いきいきと暮らせるまちをつくります。

中学校整備事業（西武地区中学校）

1億2,936万円

西武中学校の校舎等の建替えに向け、既存校舎等の解体工事の実施設計と、建替え工事基本・実施設計を行います。また、西武地区の中学校統合に向けて、生徒が安心して統合を迎えられるよう学校間での事前交流事業の実施や、学校統合に伴う式典の開催、引越作業等を行います。

施設整備事業（小・中学校）

5億8,647万円

金子小学校、藤沢小学校、藤沢南小学校の校舎（縦1系統）および上藤沢中学校の屋内運動場のトイレの改修工事等を実施し、老朽化している施設の適正な維持管理に努め、子どもたちの教育環境の向上につながる施設整備を計画的に進めます。

スポーツによるまちづくり事業

608万円

入間市スポーツ振興まちづくり条例に基づき、市の特色や魅力となるスポーツを推進し、スポーツを介した産業の発展や活気あふれるまちの実現を目指すため、既存の大会開催の他、新たなスポーツイベント・大会に取り組みます。

地区体育館等改修事業

5億2,966万円

体育施設の長寿命化および非構造部材の耐震補強を図るため、武道館・弓道場（令和5・6年度継続事業）および東金子地区体育館の改修工事、ならびに宮寺地区体育館改修工事の実施設計を行います。

学校給食センター更新事業

14億7,388万円

新たに整備する学校給食センターは、食物アレルギー対応食の提供や環境負荷の低減に加え、災害時対応施設としても活用が図れるよう事業を進めます。

小中学校費総額では 20.4億円

体育施設費総額では 8.2億円

学校給食費総額では 29億円

整備費総額 43億円

3 ささえあいのまちづくり

市民同士の支え合いを中心とした福祉を充実するとともに、保健・医療・福祉の連携によって、市民が健康で快適な生活を送ることができるまちをつくります。

子ども医療費扶助

4億3,587万円

家計の経済的負担を軽減するとともに、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることを目指します。令和6年10月診療分から、通院分と入院分をあわせて、18歳を迎えた年の年度末まで支給対象を拡大します。

ヤングケアラー支援事業

383万円

入間市ヤングケアラー支援条例に基づき、ヤングケアラーが担っている過度な家事や家族の世話等の負担を軽減するために、ヘルパー派遣等の支援を実施し、全てのこどもが健やかに成長できる環境を整備します。

公立保育所整備事業

638万円

公共施設マネジメント事業計画に基づき公立保育所の施設整備を行い、保育の充実を図ります。(仮称)金子保育所整備のための要求水準書の作成業務を予定しています。

妊婦・乳幼児健診事業

8,090万円

妊産婦、新生児および乳幼児への健康診査等を実施することで、健康の保持推進や育児不安の軽減を図り、妊娠から出産、育児まで切れ目なく支援を行います。未受診者を把握し家庭訪問を行うことで、養育支援が必要な家族の早期発見、支援へつなげます。

乳幼児健診デジタル化事業

382万円

乳幼児健診に係る問診票のペーパーレス化、母子保健情報のデジタル化を進めます。母子保健情報のデータ連携により、マイナポータルからの問診データ送信や健診結果の確認が可能となる先行実施事業を行います。

母子保健費等総額では
１１.７億円

保育所・園費総額では
４４.８億円

ちなみに学童保育費は
４.９億円

ちなみに生活保護費は
４８.１億円

4 住みやすく緑豊かなまちづくり

都市基盤の維持改善に取り組み、生活環境、自然環境を守ることで、快適で利便性の高い、住みやすさを実感できる緑豊かなまちをつくります。

ゼロカーボンシティ推進設備設置費補助事業

2,089万円

ゼロカーボンシティの実現のため、再生可能エネルギー活用設備（太陽光パネル・定置用リチウムイオン蓄電池・V2Hシステム）を設置した方に対し、費用の一部を補助します。

ゼロカーボン推進事業

8,749万円

市域における再生可能エネルギーの最大限の導入に向けて、官民連携により公共施設へ太陽光発電設備を設置します。また、スマートフォンアプリを活用して脱炭素行動のポイント化を図ります。

立地適正化計画関連事業

840万円

人口減少・少子高齢化等の社会構造の変化に対応する持続可能なまちづくりを推進するため、「立地適正化計画」の策定に取り組みます。

公園等整備事業

2億1,988万円

民間の活力を活用して、市の財政負担を軽減しつつ、公園利用者の利便性の向上や公園の魅力向上を図るため、富士見公園の再整備や狭山台地区近隣公園の整備にあたってパークPFI事業に取り組みます。

ごみ運搬処分事業費

2億4,140万円

今まで埋立処分していた焼却灰や、不燃残渣（ざんさ）類についてもリサイクルを進め、最終処分量を減らす施策を推進するとともに、資源循環社会の実現に向けて各種資源リサイクルに取り組みます。

環境政策費総額では 1.4億円

公園/緑化費総額では 6億円

ごみ処理費総額では 18億円

ちなみに道路橋梁費は 12.1億円

5 活気に満ちたまちづくり

産業振興、地域の特性を活かした観光資源のアピールや市民文化の創造・発信に取り組むことで、まちもひとも活気に満ちたまちをつくります。

狭山茶ブランド振興プロジェクト事業

251万円

おいしい狭山茶大好き条例に基づき、さらなる狭山茶の振興を図り、市内産狭山茶のブランド力の向上や魅力発信に取り組みます。

森林病害虫等防除事業

450万円

ナラ枯れ被害木の伐採等の経費に対して、森林環境譲与税を活用した補助金制度を創設し被害木の対策に取り組みます。

観光振興事業

1,374万円

茶畑テラス「茶の輪」の認知拡大や集客促進を行うことで狭山茶振興を図るとともに、ロケーションサービスを通じて市内を広くPRすることにより、観光振興や地域経済の活性化を図ります。

商工業費総額では 1.7億円

農林水産業費総額では 1.6億円

6 安全で安心してくらせるまちづくり

災害に対応する危機管理体制の確立、交通安全の推進、日常生活における不安の解消に取り組むことで、市民が安全で安心してくらせるまちをつくります。

埼玉西部消防組合負担金

18億3,372万円

埼玉西部消防組合の負担金を支出します。住民の安全安心のため、広域消防体制の充実・強化に向けた支援を行います。

自動車等購入費

2,366万円

複雑多様化する各種災害に対応するため、老朽化した消防団第5分団第1部（藤沢地区）の消防ポンプ自動車を更新します。

新庁舎等整備事業

10億788万円

耐震基準を満たしていない市庁舎A・B棟の建替えと引き続き活用するC棟の改修に向け、設計業務を進めるとともに、新庁舎の建設工事に着手します。

※画像は、現時点でのイメージです

非常備消防費総額では
1.8億円

ちなみに防災防犯安全費
1.7億円

整備費総額
85億円

特別会計の主な事業

国民健康保険
143億2,785万円

後期高齢者医療
26億7,312万円

介護保険
122億2,248万円

入間市駅北口土地区画整理事業
17億2,500万円

事業進捗率　７８.５％

扇台土地区画整理事業
4億2,530万円

事業進捗率　４７.１％

公営企業会計の主な事業

水道事業
47億4,448万円

下水道事業
35億1,041万円

「入間市」の現状認識

▼人口急減＋税収激減 ↘
▼高齢者の福祉費増大 ↗
▼公共施設の負担増大 ↗

数年後に財政破綻の危機

ゆでガエル理論

カエルを熱湯の中に入れると驚いて飛び出すが、常温の水に入れて徐々に熱すると、カエルはその温度変化に慣れていき、気づかないうちにゆであがって死んでしまう。

自治体経営で入間市を守る！！

①　“削ぐ！”　～行政改革～

②　“稼ぐ！”　～歳入確保～

③　“蒔く！”　～未来投資～

プラス１

◎　“働く！”　～人財育成～

令和６年度の挑戦

①人への投資

②子どもへの投資

③公共施設マネジメントの推進

まちづくりのビジョン

香り豊かな緑の文化都市

１０年間のまちづくりの目標

みんなでつくる、住みやすさが実感できるまち

人口減少対策のテーマ

元気な子どもが育つまち

めざす将来都市像

来てよし、住んでよし、働いてよしのまち

「来てよし、住んでよし、働いてよし」の三方良しのまち・入間へ

地域の特色ある活性化こそが市政の根幹です

“地域主権”と“住民自治”のまちづくりを目指します

今後とも市政へのご理解ご協力を宜しくお願い致します